

【事例発表②】

**奈良県立医科大学附属病院
医療勤務環境改善の取り組み**

奈良県立医科大学附属病院
看護部長 高橋 美雪

奈良県立医科大学附属病院における 医療勤務環境改善の取り組み

- ➡ 病院紹介
- ➡ 医療勤務環境改善の取り組みの背景
- ➡ 医療勤務環境改善の取り組み内容
- ➡ 医療勤務環境改善の成果
- ➡ 医療勤務環境改善の今後の取り組み

病棟のラウンジから大和三山
が見渡せる病院



奈良県総合医療センター

奈良保健医療圏

西和保健医療圏

奈良県西和医療センター

奈良県総合リハビリテーションセンター

中和保健医療圏

東和保健医療圏

県立五條病院

奈良県立医科大学附属病院

町立大淀病院

国保吉野病院

南和保健医療圏

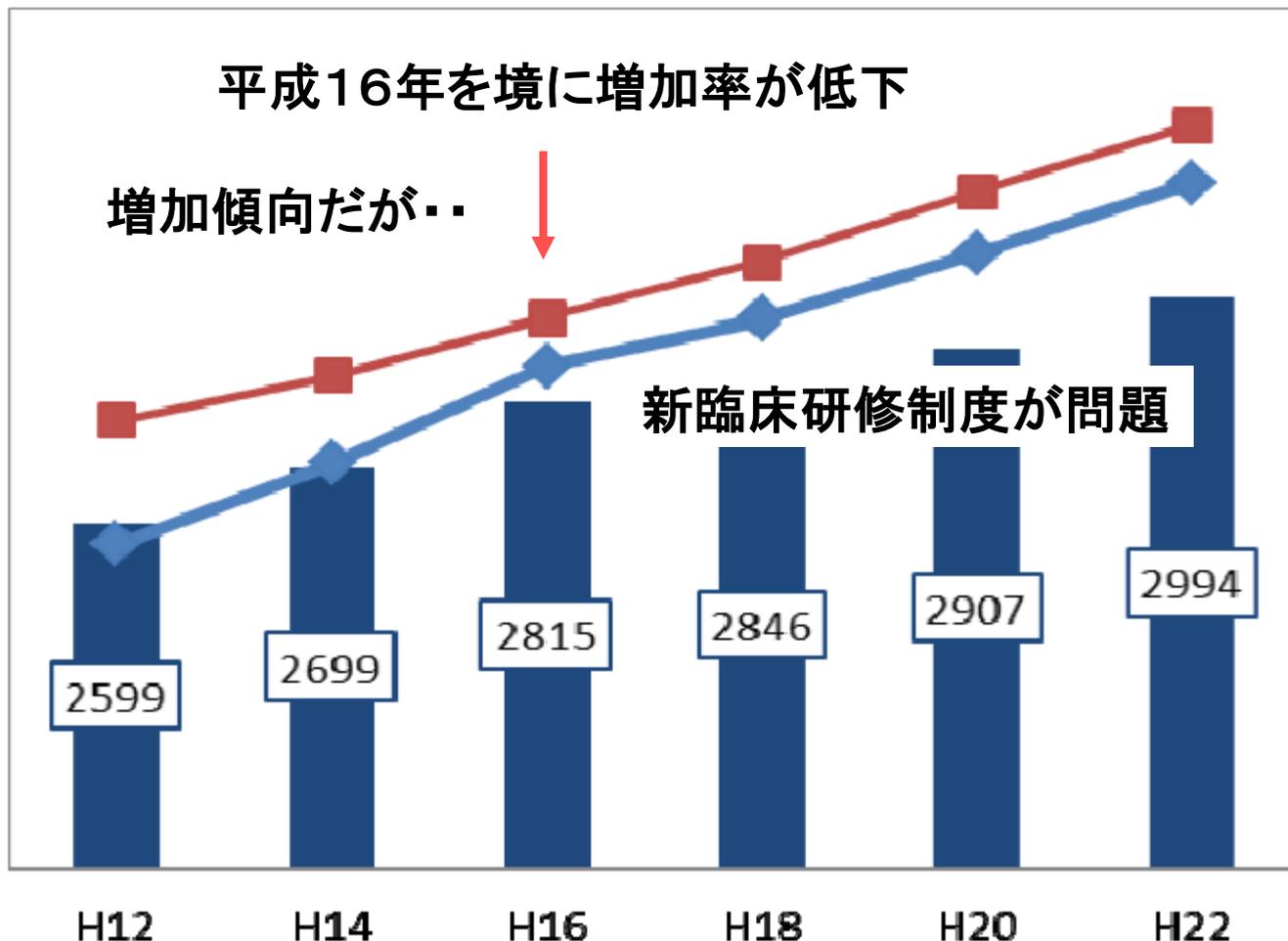
奈良県二次保健医療圏域図



奈良県の医療施設従事医師数の推移

人口10万人あたり医師数

230.0
220.0
210.0
200.0
190.0
180.0
170.0
160.0
150.0



3500
3000
2500
2000

奈良県医療施設従事医師数

■ 従事医師数 (奈良県) ◆ 人口10万対 (奈良県) ■ 人口10万対 (全国)

厚生労働省
「医療施設調査」・県業務課調査より

奈良県立医科大学附属病院 概要

▶ 病床数 978床

一般病床 861床、精神病床 108床、感染症病床 9床

▶ 入院基本料 7対1

▶ 診療部 (22診療科)

▶ 中央診療施設 (10部・17センター・3室)

▶ 病院機能

特定機能病院、災害拠点病院 (基幹災害医療センター)
高度救命救急センター、第一種・第二種感染症指定医療
機関、基幹型臨床研修病院、特定承認保険医療機関 (高
度先進医療) : 中核拠点病院、先進医療

職員数（総数 2,234人）

H.27.5.1現在

職 種	人 数
医師・歯科医師	657
助産師・看護師・准看護師	1,034
看護補助	66
臨床工学技士	32
病棟クレーク	24
薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、 理学療法士、その他	

取り組みの背景

- ➡ 医師の事務作業における負担感が大きく、医療行為の記入漏れによるレセプト請求漏れもあった。
- ➡ 特定機能病院であり安全かつ効率的な医療を期待されているが、麻酔科医が不足している。



- ➡ 医師事務作業補助者の導入
- ➡ 手術部における臨床工学技士の役割・業務拡大

医師事務作業補助者の導入

～平成19年度～

- ▶ 病棟クラークの配置 各病棟1名
- ▶ 業務内容

電子カルテの代行入力

D P C、処置オーダー、医療材料・消耗品のオーダー、退院証明書作成、入院治療計画書のスキャナー取り込み

医師作成の各文書の確認、文書料オーダー入力
電話対応、患者・家族からの問い合わせ対応
など

医師事務作業補助者の導入

～平成25年度～

■ 外来ドクター秘書の配置 7 診療科 各1名

■ 業務内容

診療補助業務：電子カルテの代行入力

検査・処置オーダー、医療材料・消耗品のオーダー、入院申込み、問診票の取り込み、画像データ等の取り込み依頼

文書作成補助業務

診断書・生保の意見書・特定疾患関連

その他作業補助 研究用資料の作成補助 など

導入効果

- 効率的な診察による患者数の増加が図られた。
- 医師が患者と対面する時間が増えることで、医療の質の向上と患者の満足度向上につながっている。
- 医師の事務作業が軽減し、診察後に研究、後進指導等に携わる時間が増えた。

臨床工学技士の役割・業務拡大

▶ 麻酔補助業務 2名

「麻酔アシスタント業務に関する臨床工学技士の高度医療技術習得のための研修プログラム」修了

▶ 手術補助業務、機器保守管理 5名

高度化する手術機器、鏡視下手術に対応する目的で、公立大学病院で、最初に臨床工学技士を清潔野での補助業務を主な目的として中央手術部に配属

2010年度の人員配置と業務

技師長

【手術部門】

部門長--- 1名

3年目--- 1名

1年目--- 4名

【業務】

- ・人工心肺
- ・自己血回収
- ・血小板採取
- ・PM業務
- ・手術室ME管理
- ・手術野での補助業務
- ・ネットワーク構築

【麻酔部門】

1年目--- 2名

【業務】

- ・麻酔科医の指示の下、
麻酔補助

【臨床部門】

部門長--- 1名

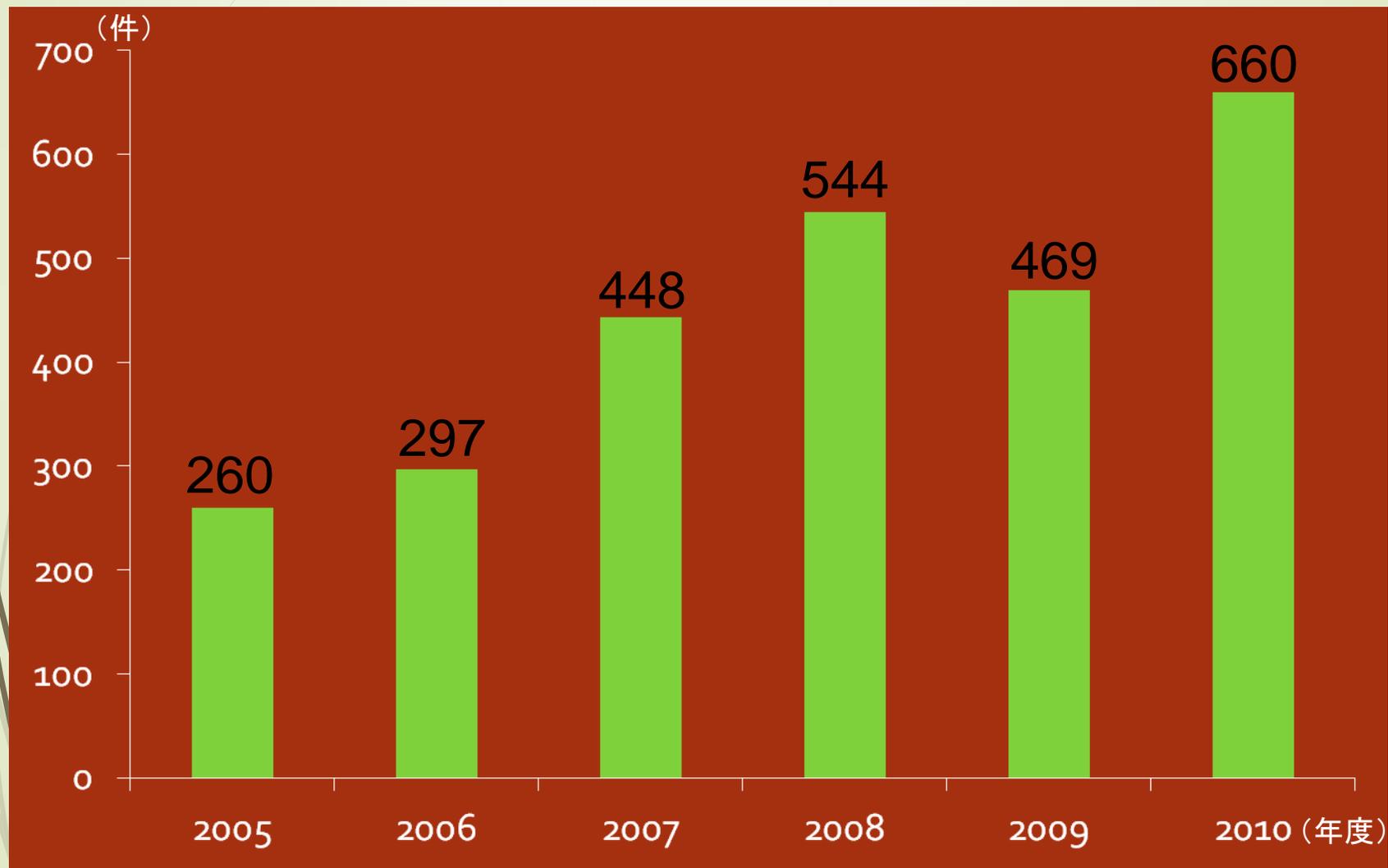
その他--- 4名

1年目--- 2名

【業務】

- ・心カテ
- ・血液浄化
- ・人工呼吸器
- ・ME機器管理
- ・医療ガス
- ・ICU代謝呼吸管理
- ・末梢血幹細胞採取

当院の鏡視下手術件数



臨床工学技士が対応している診療科

- ・ 消化器外科
- ・ 泌尿器科
- ・ 整形外科
- ・ 眼科
- ・ 産婦人科
- ・ 口腔外科
- ・ 耳鼻咽喉科

担当科を決めて行っている

翌年度から

脳神経外科
皮膚科
救急科

未対応

心臓血管外科
呼吸器外科

業務内容①



器械並べ



手術中



洗浄

業務内容②



患者入室



血管確保



硬膜外麻醉



挿管

導入効果

- ▶ 清潔野での補助業務に関して看護師の評価は非常に高い。

診療科を絞り、専門的に行っているので、術式、材料、手術機械に習熟をするのが早い。

- ▶ 機器管理業務については、機器のトラブル時の対応がスムーズになった。

手術室に常駐することで、トラブル時の対応及びメーカーへの連絡も素早くなり、リーダー看護師のストレスの軽減、安心感に繋がった。

導入効果

- ▶ 医用工学的知識のある臨床工学技士が清潔野での補助業務を行って周術期管理チームに参加することによって業務が分担され、コ・メディカルチームがそれぞれの目線で何をするのかが明確になり高い専門性を発揮できている。



今後の取り組み

- 業務拡大

そのためには...

- 人材の育成

...まずは指導者の育成



病院経営・運営を支える プロジェクト

- 保険診療担当プロジェクト
- 入院診療対策プロジェクト
- 外来診療対策プロジェクト
- 医薬材料対策プロジェクト
- 手術・病病連携対策プロジェクト
- **医療安全・質評価・教育対策プロジェクト**
- がん診療対策プロジェクト
- 救急医療プロジェクト

人材育成

職員満足

患者満足

病院の理念

地域貢献

職員の
労務環境

病院経営

患者サービス
地域貢献



ご清聴ありがとうございました。